



「Sukurappu ando Birudo プロジェクト 道が拓ける」

2017年7月29日(土)–8月27日(日)

毎週水曜日休み

Open: 14:00 – 20:00 (道の通行は24時間開放)

Opening reception (完全招待制)

2017年7月29日(土) 16:00–17:30

「Chim↑Pom 通り竣工式」 17:00

会場: キタコレビル 東京都杉並区高円寺北 3-4-11

FEE: FREE (道の通行)、¥500 (展覧会鑑賞)

主催: Chim↑Pom Studio

共催: Garter gallery

協力: 株式会社 TANK、株式会社 PARCO、株式会社 昭和ネオン、歌舞伎町振興組合



この度 Chim↑Pom は、2016 年秋に歌舞伎町で開催した個展「また明日も観てくれるかな？」の続編となるいくつかのイベントの開催と、書籍の刊行をいたします !!! 会場は高円寺キタコレビル! 新作個展「道が拓ける」の一環として、また、スクラップ&ビルドをテーマにした本プロジェクトの後半戦として、建築家・周防貴之と共同で会場内に「道」を製作。プライベート空間内のパブリックスペースとして、24 時間無料で一般に開放いたします（「道」以外の作品鑑賞は有料となります）! 会期中にはパフォーマンスイベントも開催予定! 会場で先行発売される、プロジェクトの全貌を収めた書籍『都市は人なり』（Chim↑Pom による初のまとまった都市論となります!）とともに、ぜひともご高覧ください!



### 道の開設とオープンイベントのご案内

この度、平成 29 年初頭からアーティスト集団・Chim↑Pom と建築家・周防貴之が、高円寺キタコレビルにて設計・施工を共同で進めて参りました「道」が、まもなく竣工を迎えます。一般開通させていただき運びとなりましたので、みなさまご多忙の折とは存じますが、近隣の方から建築関係者の方々まで、ご通行いただけましたら幸いです。

詳しくは Chim↑Pom によるステイトメントをご覧ください。

平成 29 年 7 月吉日  
Chim↑Pom、周防貴之



## 道の開通にあたって

この度、平成 29 年度より着手して参りました「道」が、東京・高円寺のキタコレビルに開通する運びとなりました。《Chim↑Pom 通り》と命名したその道は、一般開放は 24 時間、近隣の公道や私道から、誰でも無料でご利用いただけます。

キタコレビルは、推定で築約 70 年、2 棟の建物をつなぎ合わせてひとつとなって以来、霊能者による施設、風俗施設、廃墟、バーコンプレックス、ファッションビルなど、多様な経歴を経ながら、常に入居者たちによる増改築が DIY で進められてきた、見た目はバラックのような建造物です。2014 年からは Chim↑Pom もスペースを借り、自らのスタジオ、ギャラリー、ショップなどを運営してきました。

Chim↑Pom と建築家、周防貴之 [すおうたかし] が共同で「道」を開通する場所は、そもそも 2 棟だった建物の中の、かつては道が存在していたと思われるところです。そこに再生するかたちで整備されました。が、屋内として使用されてきた長年の歴史もその風景に含まれるため、パッと見では、私的な空間なのか公的な場所なのか曖昧なまま施工されています。

いくなれば、プライベート空間の中にできた公共空間。そんな道として、今後とも Chim↑Pom と不特定多数の皆様とで育てていけたらと思います。

ちなみに、Chim↑Pom は、かねてより公共空間やパブリックアートなどの私的利用を無断で繰り返してきたアーティストコレクティブとして知られており、公共という概念に関しては少なからぬ思いがあると自負しております。ですので、いまのところはこの《Chim↑Pom 通り》の利用にあたってのルールは設けるつもりありません。が、隣人、キタコレビルのほかの住人、当の Chim↑Pom がさすがに必要なだろうと判断した場合、随時ルールを設定する予定です。

自動車が通れる広さはありませんが、混雑時には速度制限を設けるかもしれません。

火災の危険が感じられた場合、路上喫煙を禁止するかもしれません。

あまりにセンスのない張り紙や落書きが横行した場合、「張り札」と「器物破損」を禁止するかもしれません。

パトロールを強化するほど暇ではありませんが、公共を謳う以前に、そもそもここは賃貸物件ですので、大家さんの気持ちを忖度する可能性は十分あります。

また、「道」のオープンに際しまして、展覧会形式のオープニングイベントを催します。

これは、2016 年に新宿の歌舞伎町商店街振興組合ビルで開催された Chim↑Pom の個展「また明日も観てくれるかな？」を前半戦とすると、その後半戦として開催される、現在の東京で乱発する「スクラップ&ビルド」をテーマにした展覧会です。Chim↑Pom は、この一連の活動を「Sukurappu ando Birudo プロジェクト」と名づけました。



「また明日も観てくれるかな？」展の終了後、ビルから撤去されることなく解体工事とともに半壊、あるいは全壊した作品の残骸が、本展のための新作の素材となり、キタコレビルも DIY な工事によって作品の一部となりました。

公的な側面と頑丈なコンクリート造りを有していた歌舞伎町商店街振興組合ビルに対し、180度真逆の側面しかないキタコレビルは、プロジェクトにギャップと矛盾をもたらしつつも、そう遠くない未来にあるだろうビルの解体に向けて、ある意味、プロセスの場としても提案されます。

そして、いくつかの作品は、この展覧会で最終形として完成されるわけではなく、その時や会期終了を待つことで、完成品として日の目を見ることになる予定です。

とくに《Chim↑Pom 通り》は、このオープニングイベントを機に、それ以降、皆様にどう利用されていくか。それ次第で性格を変化させるでしょう。

皆様のお越しと道のご利用を、心よりお待ちしております。



Chim↑Pom





## ■イベント概要

「道が拓ける」展の会期中には、『東京♡道♡ストーリー』と題し、竣工を迎えた道・「Chim↑Pom 通り」にて、宇川直宏（DOMMUNE 主宰）や K-BOMB（BLACK SMOKER）、マヒトゥー・ザ・ピーポー、悪魔のしるしなど気鋭のパフォーミングアーティストらによる BLOCK PARTY を複数回、開催いたします（イベントディレクターは古藤寛也）。BLOCK PARTY の出演者やタイムテーブルにつきましては、随時、公式サイトにて発表いたします。なお当日は通行規制となりますのでご注意ください。料金はもちろん無料！！

『東京♡道♡ストーリー』

7/29(土)

時間：18:00 - 19:30

料金：無料

場所：東京都杉並区高円寺北 3-4-11 キタコレビル Chim↑Pom 通り

出演者：宇川直宏（DOMMUNE 主宰）、K-BOMB（BLACK SMOKER）、マヒトゥー・ザ・ピーポー

FOOD：会田誠



宇川直宏

1968 年生まれ。現在美術家。映像作家、グラフィックデザイナー、VJ、文筆家、京都造形芸術大学教授など、極めて多岐にわたる領域に活動を広げる。2010 年に個人で開局したライブストーリーミング兼チャンネル「DOMMUNE」では、世界中の DJ、クリエイターから熱狂的な支持を受け続けている。2012 年より文化庁メディア芸術祭審査員（3 年間）、2015 年高松メディアアート祭ゼネラル・ディレクター、同年アルスエレクトロニカのサウンドアート部門審査員も務める。



#### K-BOMB

1997年、BABA、JUBE、NOX、DJ YAZI と、「THINK TANK」を結成。2000年、THINK TANKのレーベル「BLACK SMOKER」を設立。「K-BOMB」、「KILLER BONG」、「THE LEFTY」、etc...など数々の名義を使い分け自身のレーベルだけでも膨大な枚数の音源を世に放つ。また、NIPPS / THE HEAVYMANNERS / QUIETSTOEM / DJ BAKU / MURO / DEV LARGE などの楽曲参加、リミックス / プロデュース / アートワーク なども手がける。無数の音と名前を持つ日本のクラブミュージックシーンを代表する異端児。



#### マヒトゥ・ザ・ピーポー

2009年 バンド GEZAN を大阪にて結成。作詞作曲をおこないボーカルとして音楽活動開始。2011年沈黙の次に美しい日々をリリース。HEADS の佐々木敦の年間ベスト 10 のディスクに選出され、全国流通前にして「ele-king」誌などをはじめ各所でソロアーティストとしてインタビューが掲載されるなど注目が集まる。

2014年、kiti より 2nd アルバム POPCOCOON 発売。2014年には青葉市子とのユニット NUUAMM を結成し、アルバムを発売する。2015年には peepow という別名義でラップアルバム

Delete CIPY を K-BOMB らと共に制作、BLACK SMOKER records にてリリース。2016年には今泉力弥監督の映画の劇伴や CM の音楽などを手がける。また音楽以外の分野では中国の写真家 REN HANG のモデルや国内外のアーティストを自身の主催レーベル、十三月の甲虫でリリース、野外フェスである全感覚祭を主催したり、近年は仲間と web magazine PYOUTH を始動。ボーダーをまたいだ自由なスタンスで活動している。2017年 6/28 に NUUAMM の 2nd album 「w/ave」を十三月の甲虫より発売。



## 会田誠

1965 年新潟県生まれ。1991 年東京藝術大学大学院美術研究科修了。美少女、戦争画、サラリーマンなど、社会や歴史、現代と近代以前、西洋と東洋の境界を自由に往来し、奇想天外な対比や痛烈な批評性を提示する作風で、幅広い世代から圧倒的な支持を得ている。国内外の展覧会に多数参加。主な展覧会に「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004」（森

美術館、2004 年）、「ビリーフ」（シンガポールビエンナーレ、2006 年）、「アートで候 会田誠・山口 晃展」（上野の森美術館、2007 年）、「バイバイキティ !!! 天国と地獄の狭間で—日本現代アート of the Now—」（ジャパン・ソサエティ、ニューヨーク、2011 年）、「ベスト・タイム、ワースト・タイム 現代美術の終末と再生」（第 1 回キエフ国際現代美術ビエンナーレ、ウクライナ、2012 年）など。

また昭和 40 年生まれのアーティストで結成された「昭和 40 年会」、美術家の妻・岡田裕子主宰のオルタナティブ人形劇団「劇団☆死期」、小説やマンガの執筆など活動は多岐にわたる。

■書籍概要



『都市は人なり——「Sukurappu ando Birudo プロジェクト」全記録』

“The City as Its People: The Sukurappu ando Birudo Project”

2016年秋の歌舞伎町での個展から、2017年夏の高円寺での「道」の開設と個展までの、スクラップ&ビルドをテーマにしたChim↑Pomのアート（建築!?）プロジェクトのすべてを記した記録集。Chim↑Pomが初めて都市論に挑む、自身7冊目となる著作！

著者：Chim↑Pom

出版社：LIXIL 出版

定価：本体 2800 円+税